

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	カウンセリング実務演習Ⅱ				
担当者氏名	岩岡 由香				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

ロールプレイ等の体験学習でカウンセリング技能を学び、ペアやグループによる振り返りを通して実践力養成に努め、保育や教育場面での応用を目指します。実習を通して、カウンセリングの目的や限界、カウンセリングにおける自身の在り方や課題についても考察します。お互いを尊重し、主体的に学びあう積極性が求められます。びを継続する方法を知る

《テキスト》

授業内で、適宜配布します

《参考図書》

参考資料・文献は、授業内で適宜紹介します

《授業の到達目標》

- ・実習を通して、カウンセリングにおける自身の在り方や態度を確認し、個々の実践上の課題を把握する
- ・カウンセリングに必要なスキルや技能の習得を目指す
- ・カウンセリング実務者として研鑽を重ねる意味と目的を理解する
- ・カウンセリング実務に関する学びを継続する方法を知る

《授業時間外学習》

- ・学習したテーマについてふりかえり、実践に向けての方法を考察し、整理する
- ・出された課題について仕上げて提出する
- ・次回のテーマについて調べてくる

《成績評価の方法》

授業への取り組み（ワークへの取り組み姿勢、発表など） 40%
 授業内容に関するプリント、レポートなどの提出 30%
 期末試験 30%

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、カウンセリング実務経験に基づいて構成しています

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、学習目的と内容、評価方法 (グループワーク)
2	カウンセリングに必要な倫理観	カウンセリングの目的と効果、限界 守秘について (グループワーク)
3	安心して話せる環境づくり	カウンセラーの在り方、態度、場面設定 (グループワーク)
4	言語的交流と非言語的交流	カウンセリング場面でのコミュニケーションの実際 (グループワーク)
5	カウンセリングにおける応答技法	カウンセリング場面で用いられるさまざまな応答技法のメリット・デメリットを考える (ペア・グループワーク)
6	ロールプレイングについて	カウンセリング演習におけるロールプレイングの原則と理論 (ペア・グループワーク)
7	ロールプレイング事例を考える	相談者の立場になって事例を考える
8	ロールプレイング 1	実践と振り返り (ペア・グループワーク)
9	主訴と見立て	主訴とは カウンセリングにおける見立てとは
10	ロールプレイング 2	実践と振り返り (ペア・グループワーク)
11	こどもとのカウンセリング	こどもとのカウンセリング事例について考える (ペア・グループワーク)
12	保護者とのカウンセリング	保護者とのカウンセリング事例について考える (グループワーク)
13	グループカウンセリング	グループカウンセリングの基礎知識、留意点 (グループワーク)
14	守秘と連携	キンダーカウンセラー、スクールカウンセラー、その他職種との情報共有と連携 継続学習の必要性と方法 (グループワーク)
15	まとめ	学習内容を振り返り整理する